

築地市場の解体工事について

東京都 中央卸売市場

解体工事の概要

築地市場内 全155棟（総延べ床面積26万㎡）の解体工事

工 期：平成30年10月11日～平成32年2月28日

作業時間：午前8時～午後6時（日曜・祝日は原則休工）

作業内容：

- 敷地境への仮囲い、建物ごとの足場や囲いの設置
- 内装・設備機器の撤去、アスベスト含有建材の除去
- 鉄骨造や鉄筋コンクリート造などの躯体解体
- 建設廃棄物の処分・運搬など

安全対策：

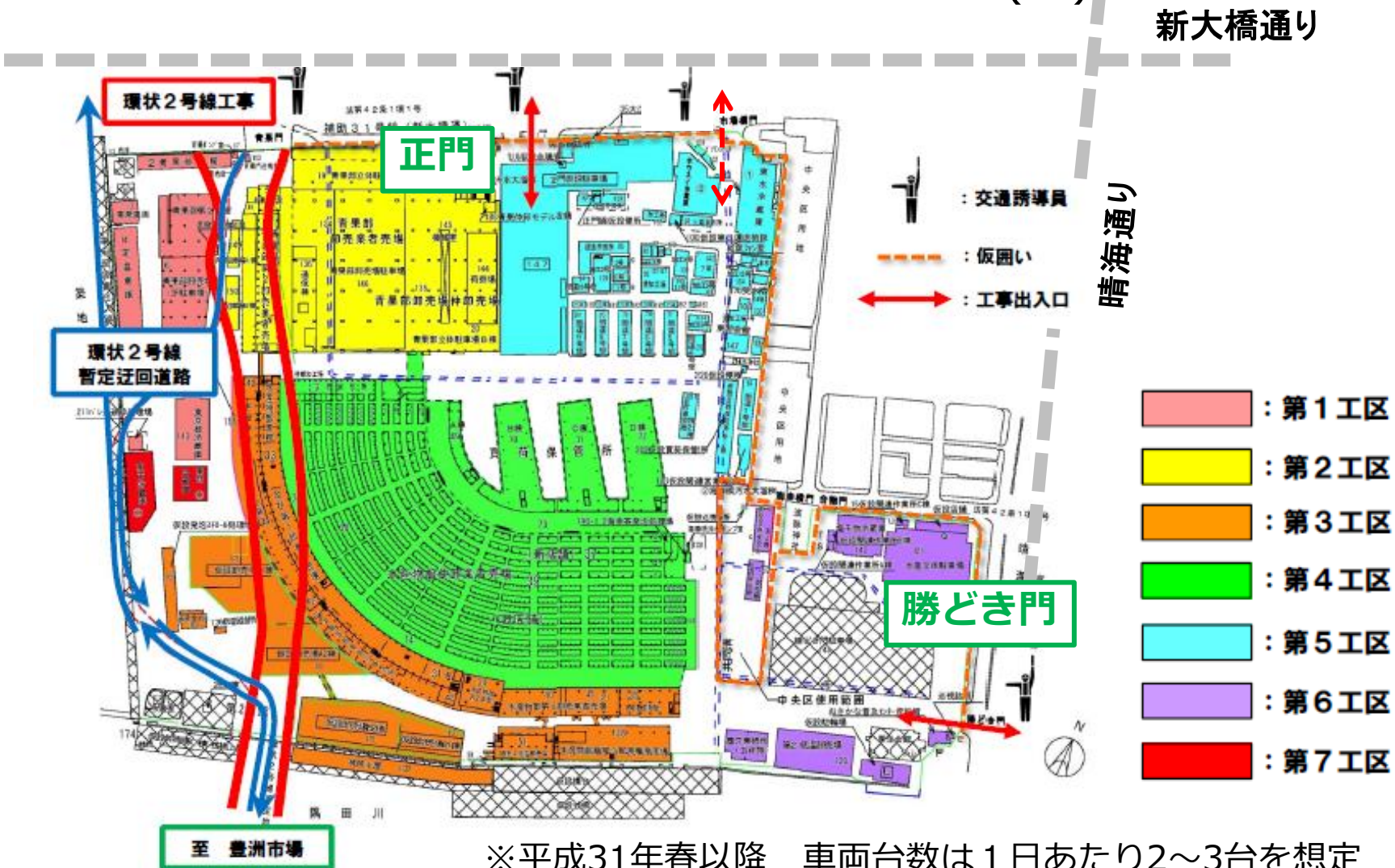
- 敷地境への仮囲いの設置
- 交通誘導員を入退場ゲートに配置

公害防止対策：

- 散水による粉じん飛散の抑制
- 低騒音・低振動型の工事車両を使用
- 防音パネル/防音シートの設置

解体工事の概要

工事車両：○正門と勝どき門を主に使用
○工程に応じて市場橋門を一時使用(※)



解体工事における監理体制

東京都中央卸売市場（総括）

- 全体定例会を実施
- 工事の進捗状況を確認
- 状況に応じて、適切に指示を行う

定例会など
工事全体の調整を行う

各工区解体業者

現場代理人

- 現場に常駐・工事の監理
- 毎朝の朝礼
- 注意事項の伝達

作業員

- 朝礼での伝達事項や法令に則り安全かつ丁寧に作業を実施

工事監理者

(設計事務所)

- 安全に作業が行われているか、アスベストが適切に処理されているか確認

周辺住民

(築地市場跡地
周辺にお住まいの方)

工事の工程などを周知
(お知らせ看板)

これまでの説明会で寄せられたご質問

Q.解体工事の工程はどうなっているか

→p6～7「主な建物の解体工程」

Q.粉じん対策の検討状況はどうなっているか

→p8「粉じん対策 返しの設置」

Q.工事車両は、どのルートを行行するのか

→p9「主な工事車両ルート」

Q.工事車両の交通量はどれくらいか

→p10「解体工事関係車両の想定台数」

Q.周辺道路(工事現場出入口)の安全対策はどうなっているか

→p11～12「誘導員配置のイメージ」

Q.車両抑制対策の検討状況はどうなっているか

→p13「車両抑制対策① コンクリート廃材の再利用」

→p14「車両抑制対策② 海上輸送の活用」

Q.工事について知りたいときはどうすればいいのか

→p15「解体工事中の近隣周知」

主な建物の解体工程

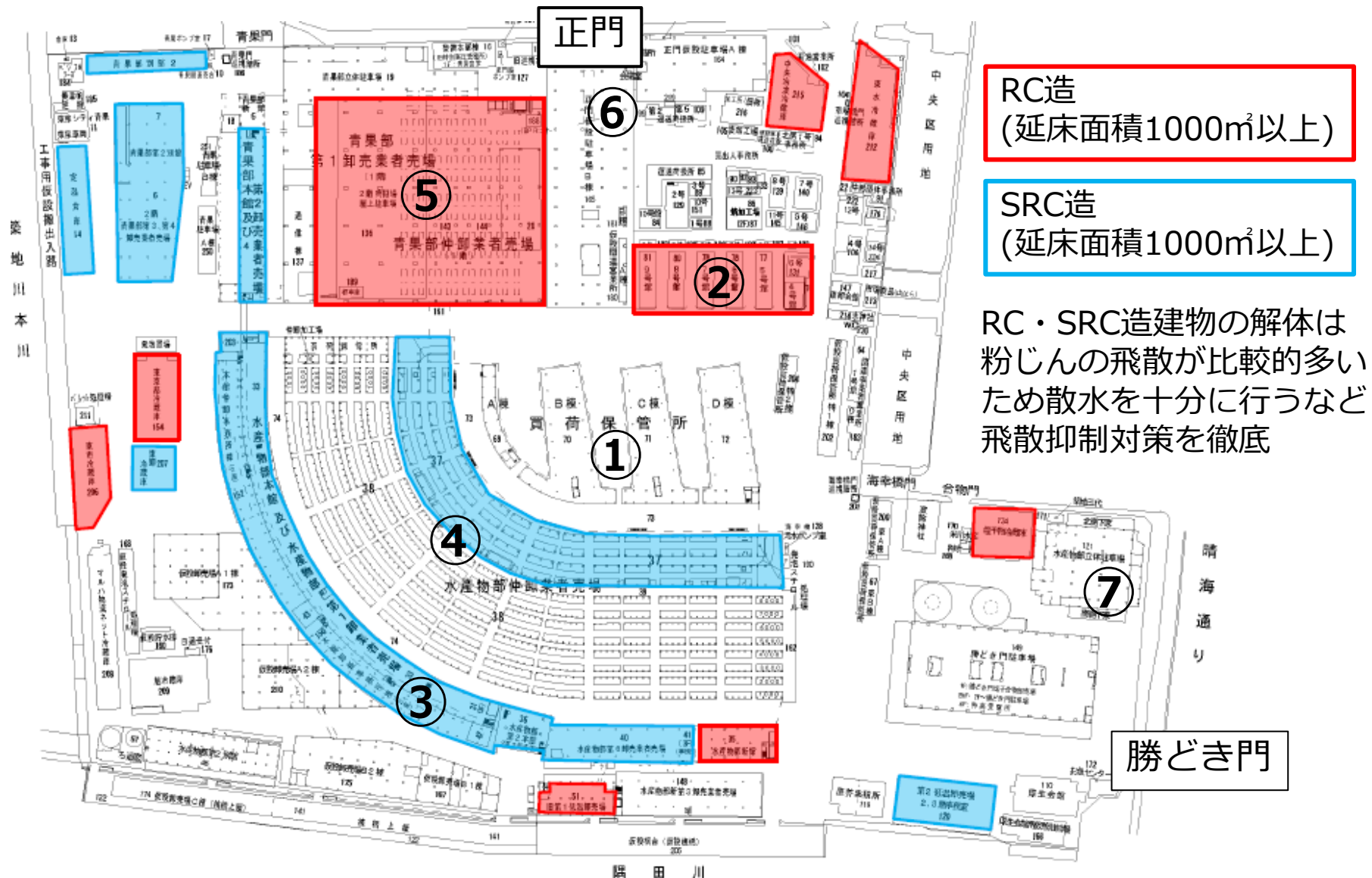
	平成30年			平成31年															
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		
環状第2号線 整備エリア	アスベスト撤去			躯体撤去				1～4工区											
①水産物部 買荷保管所(S)		躯体撤去						4工区											
②関連事業者 営業棟(RC)		アスベスト撤去			躯体撤去				5工区										
③水産物部本館 (SRC)						躯体撤去				3工区									
④水産物部仲卸 売場(S・SRC)						アスベスト撤去												躯体撤去 4工区	
⑤青果部卸売・ 仲卸売場(RC)					アスベスト撤去			躯体撤去						2工区					
⑥正門駐車場 (S)		アスベスト撤去							躯体撤去				5工区						
⑦水産物部 立体駐車場(S)						アスベスト撤去				躯体撤去				6工区					

※S：鉄骨造

RC：鉄筋コンクリート造

SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造

場内の鉄筋コンクリート(RC)造建物および鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)造建物の配置図



粉じん対策 返しの設置

- ・ 建物の囲い上部に、さらに返しを設置することで、粉じんの飛散を抑制
- ・ 場外市場に近い建物への設置を調整中



設置調整中の建物

ホウスイ・東水冷蔵庫/東卸会館
関連事業者営業所/塩干物冷蔵庫
水産立体駐車場



主な工事車両ルート

- 工事車両は幹線道路を走行



入場経路

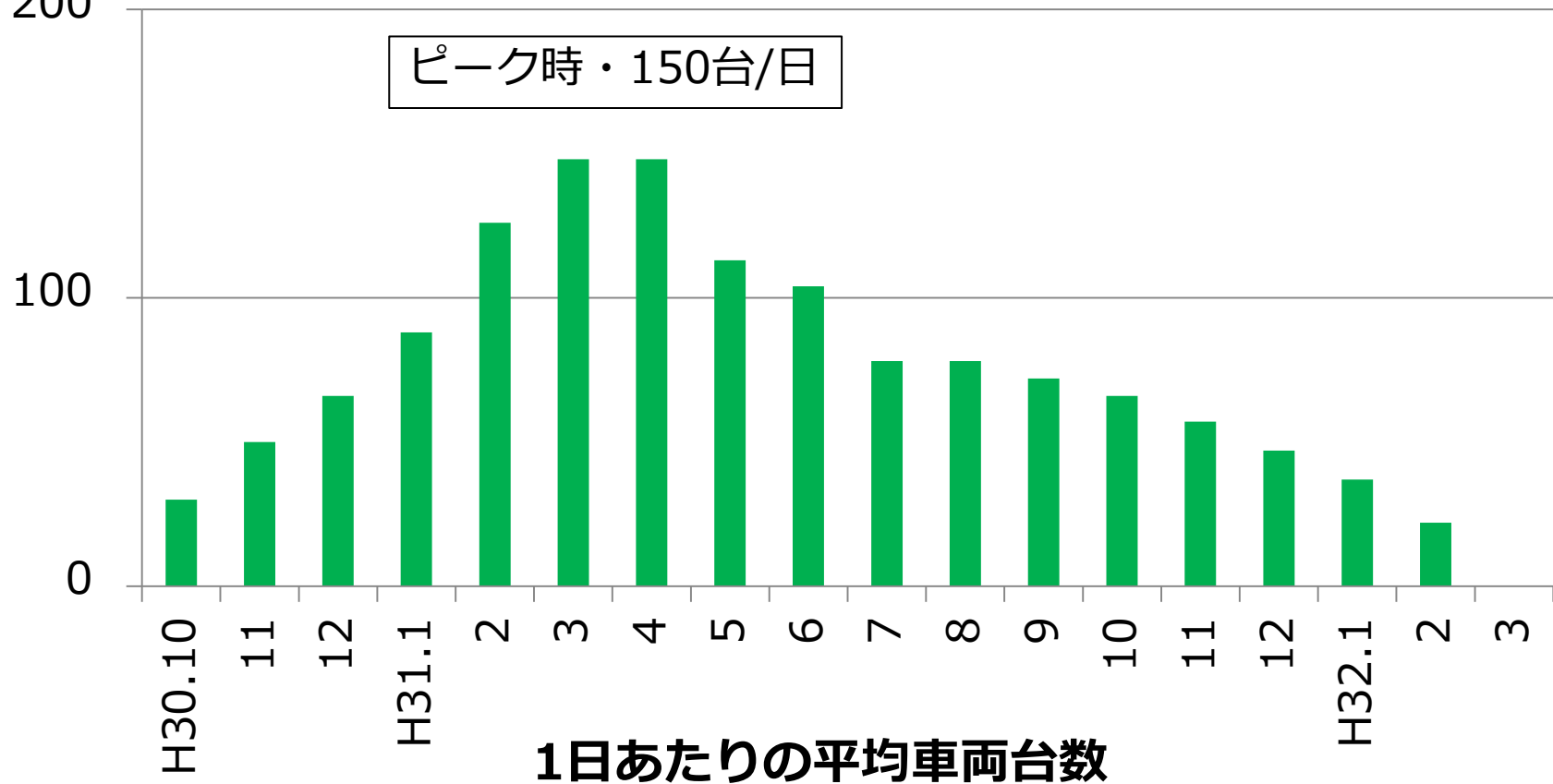


退場経路

※環状第2号線共用開始前

解体工事関係車両の想定台数

台/日
200



参考

・現在の周辺道路の交通状況

新大橋通りの一日あたり交通量：約3万台（青果門付近）

晴海通りの一日あたり交通量：約5万台（有楽町付近）

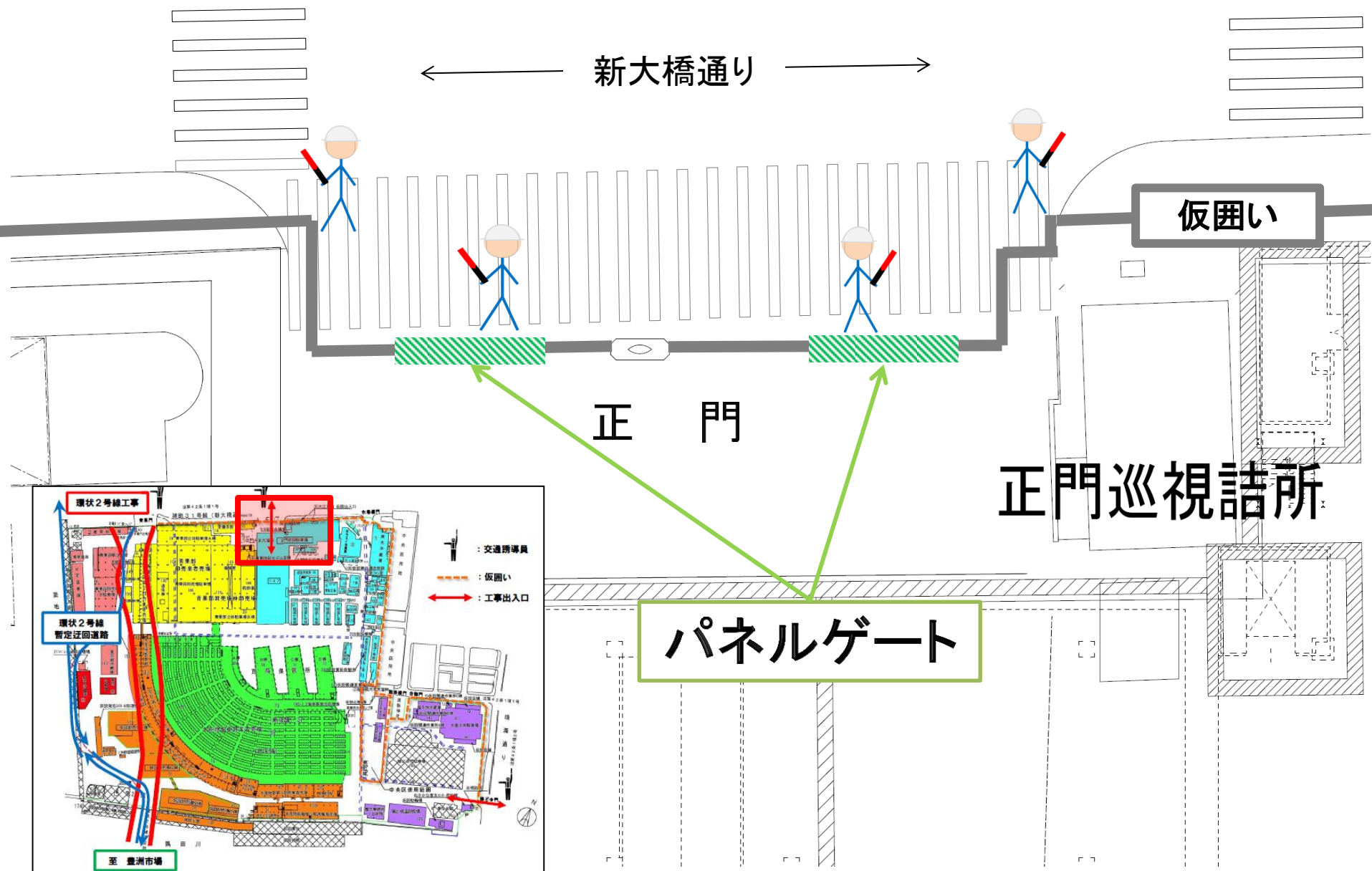
※交通量は国土交通省「H27年度交通センサス」参照

・築地市場の車両入場台数

：約1万2千台（一日あたり）

※H26年度築地市場交通状況調査報告書

誘導員配置のイメージ① 正門ゲート



誘導員配置のイメージ② 勝どき門ゲート

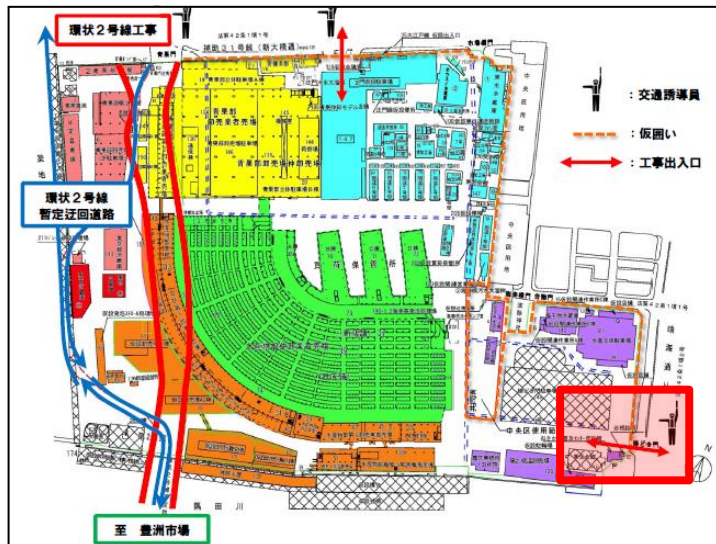
勝どき門駐車場

仮囲い

パネルゲート

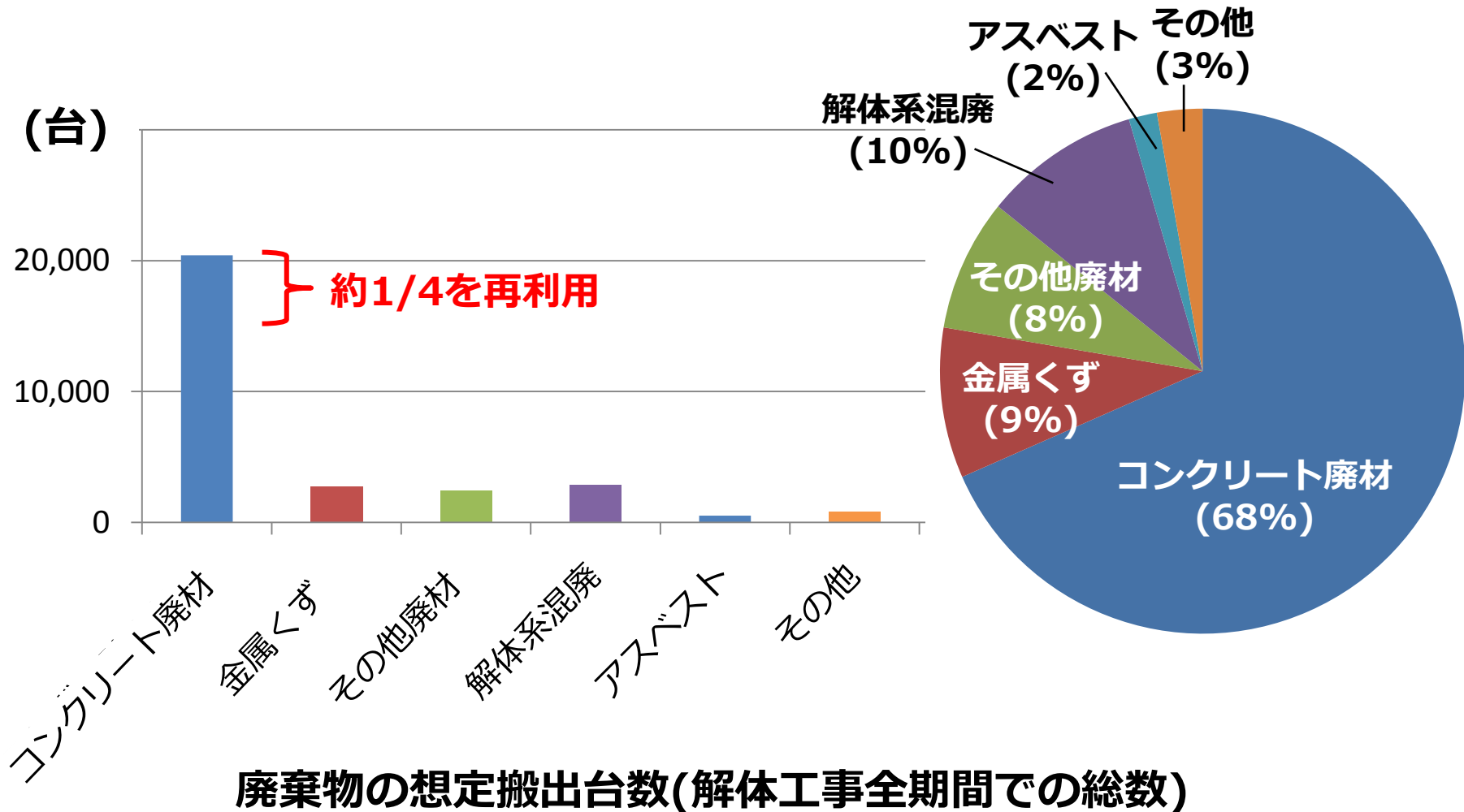
勝どき門

勝どき門
巡視詰所



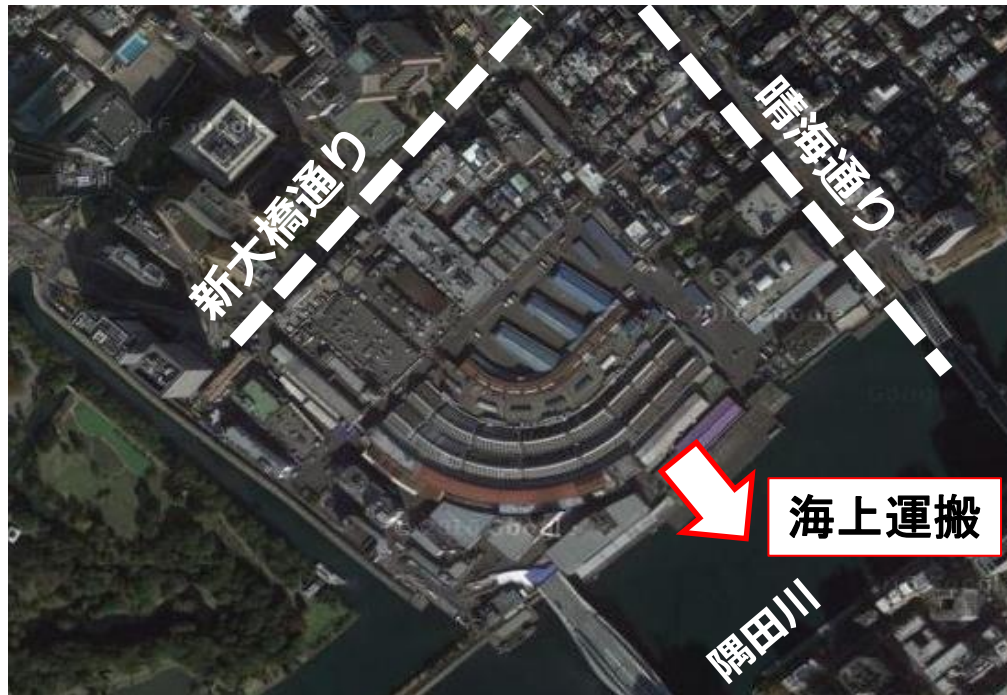
車両抑制対策① コンクリート廃材の再利用

- 解体で発生するコンクリート廃材を車両基地整備に活用することで、廃棄物運搬車両台数の抑制を計画



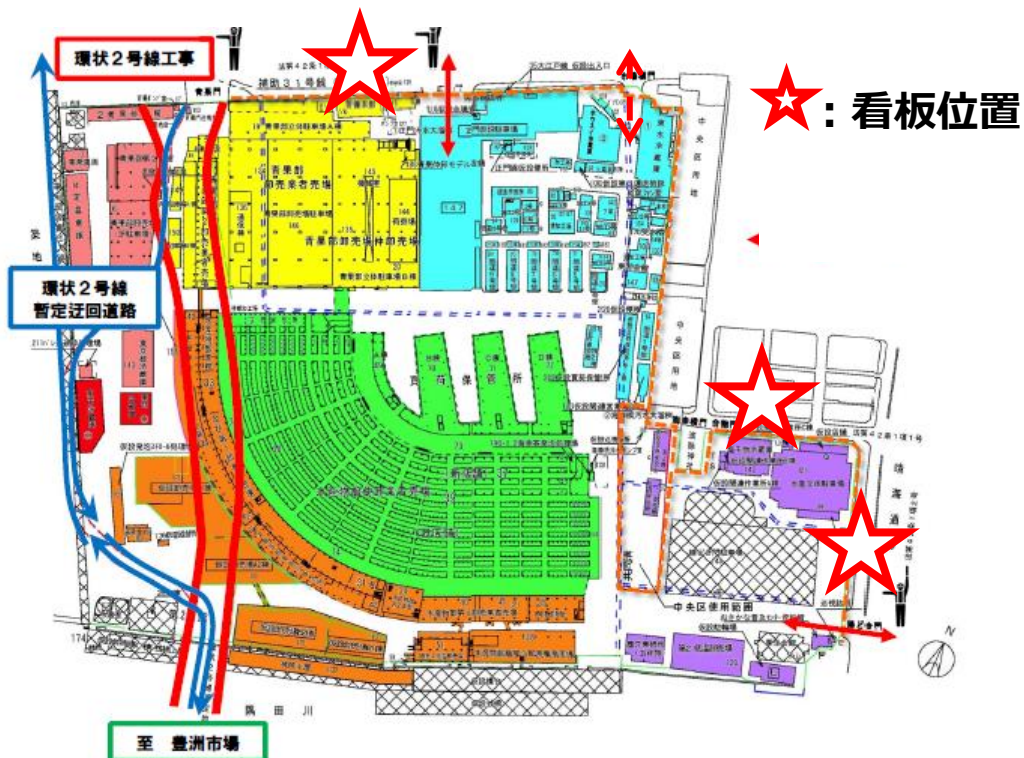
車両抑制対策② 海上輸送の活用

- ・ 解体で発生するコンクリート廃材の一部を、隅田川から海上輸送することを計画
- ・ 海上輸送はコンクリート廃材輸送量のピーク時(平成31年春頃)に行い、同時期に想定される車両台数の約2割の抑制を想定



解体工事中の近隣周知

- ・ 工事工程などのお知らせを掲示(看板)
 - 週間工程表 (作業内容)
 - 問い合わせ一覧
 - 体制表 (各協力企業名、作業責任者氏名など)

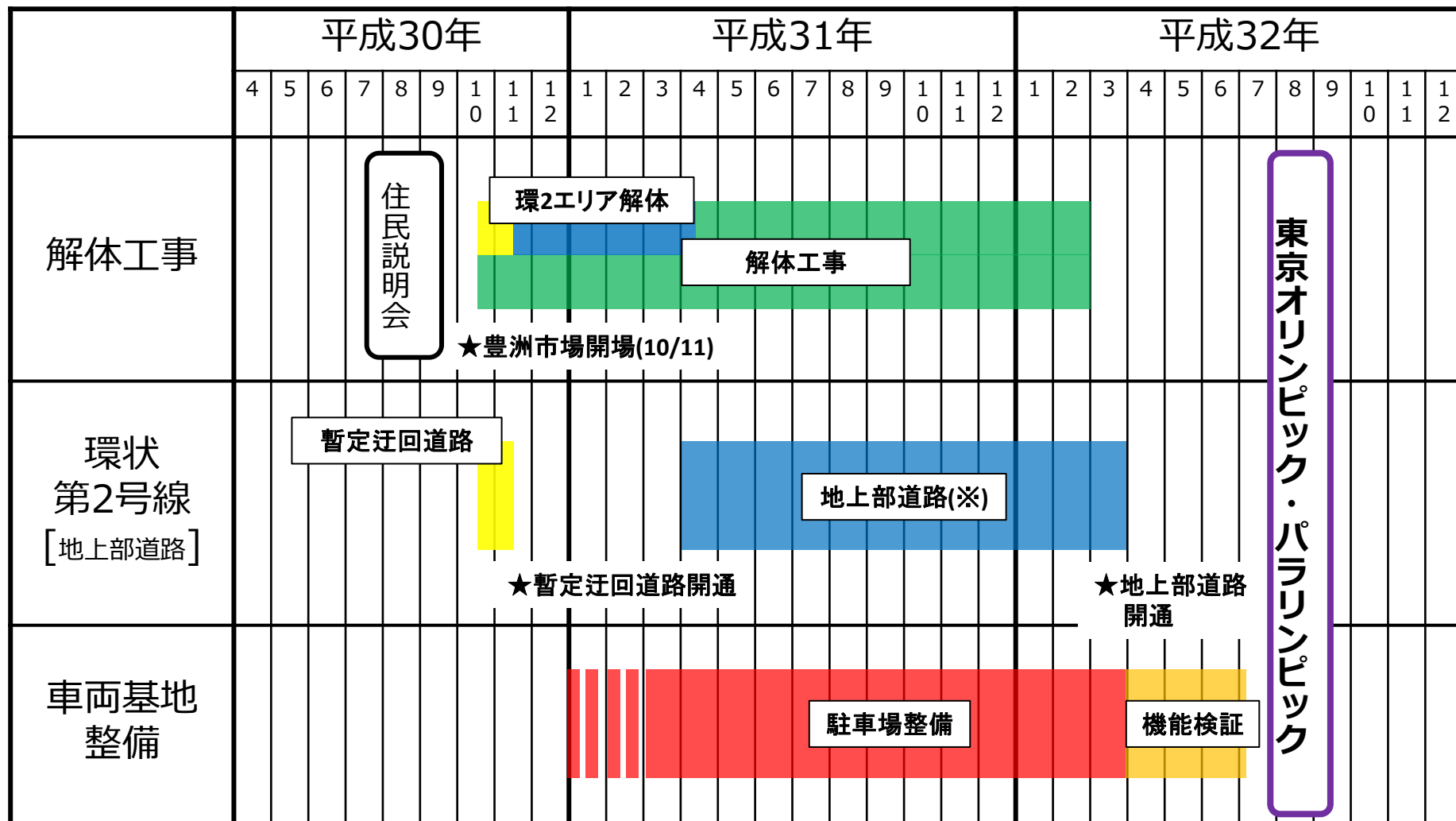


窓口 解体工事
東京都中央卸売市場事業部施設課
03-5320-5772

補足資料

- ・ 築地市場閉場後の全体計画
 - ・ 各工事における工事車両の想定台数
 - ・ 築地市場閉場に向けたネズミ対策
- ・ ・ ・ p17
 - ・ ・ ・ p18～19
 - ・ ・ ・ p20～21

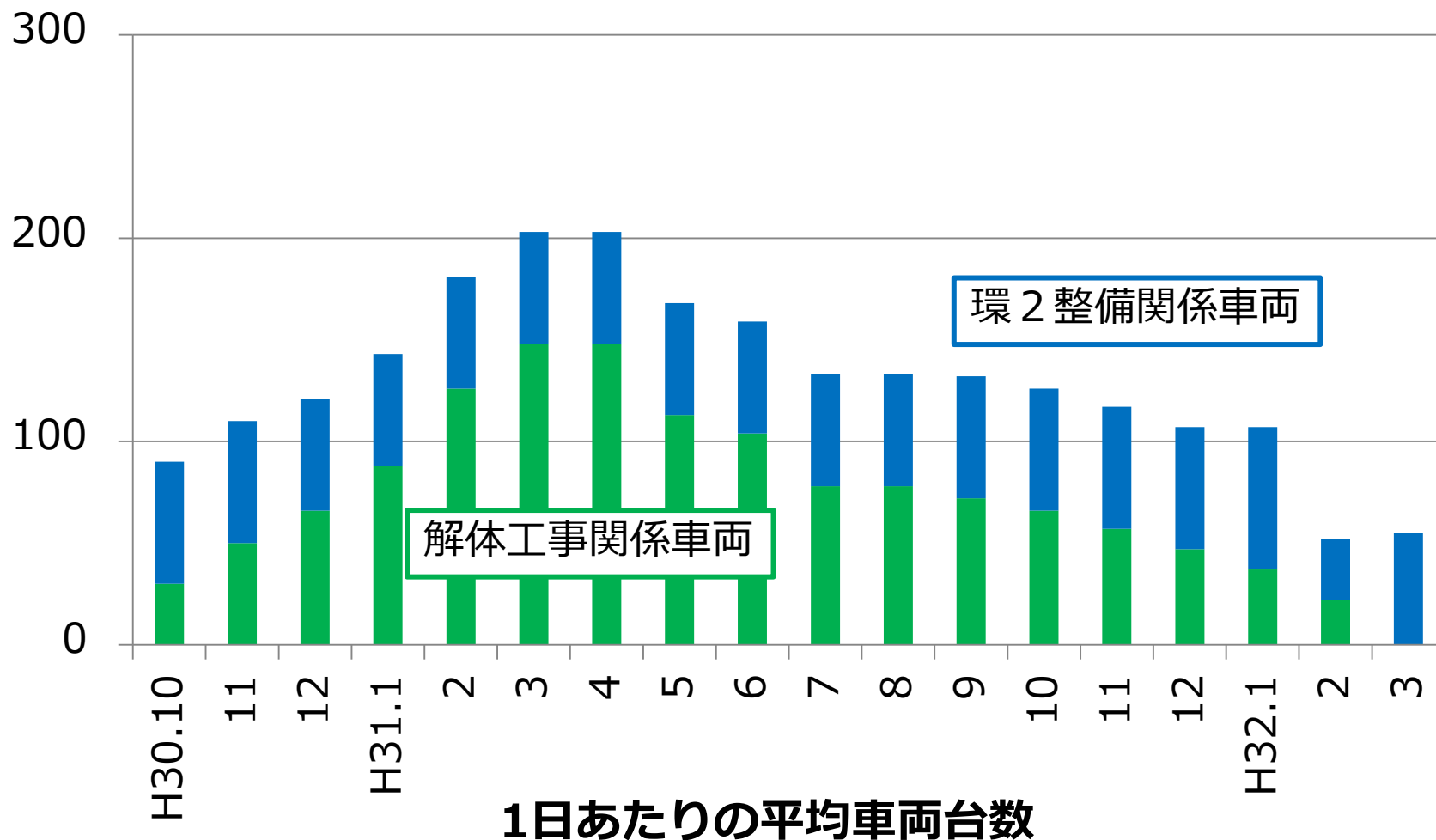
築地市場閉場後の全体計画



※環状第2号線の地上部道路の整備期間中には、地下部を走行する本線トンネルの整備も並行して行う
 ※本線トンネルは2022年度目途に整備を進める

各工事における工事車両の想定台数

(台/日)



1日あたりの平均車両台数

	平成30年			平成31年												平成32年		
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
解体	30	50	66	88	126	148	148	113	104	78	78	72	66	57	47	37	22	
環2	60	60	55	55	55	55	55	55	55	55	55	60	60	60	60	70	30	55
計	90	110	121	143	181	203	203	168	159	133	133	132	126	117	107	107	52	55

※解体：解体工事関係車両

環2：環状第2号線整備関係車両

(注)

- ・解体工事の想定台数は、設計上の廃棄物の搬出総量から想定した月別の搬出量を、10tトラック1台の積算容量を基に換算した台数であり、実際の作業内容により変動があります。
- ・環2整備については、平成30年7月時点における工事工程をもとに車両台数を想定していますが、ピーク時(平成31年夏頃)には、一日の工事車両が200台を超える日もあります。
- ・車両基地整備は、現在、調査・設計を進めており、車両台数は検討中です。

- 今年度の駆除実績

○5月…699匹 ○8月…739匹

- 閉場前後の駆除予定

	9/15～ 9/17	9/22～ 9/24	10/11～ 10/17	10/18～ 11/16	合計
粘着シート(枚)	7000	7000	20000	5000	39000
殺鼠剤(kg)	30	30	150	50	260※
捕獲かご(台)	50	50	50	50	600※

※捕獲かごについては外周部対策時設置の400個を含む

※殺鼠剤はこの他青果部に60kg使用

※9/15～9/17における捕獲実績は215匹(速報値)

- 場外への流出対策

○場外周部に波板、防鼠ブラシ、捕獲かご等を設置

○場外と接続している2か所の雨水管への流出防止
ネットは9月中に設置予定



参考資料

- ・ 解体工事の手順 . . . p23
- ・ 解体工事における各対策 . . . p24～27
 - 粉じんの飛散抑制対策
 - 交通安全対策
 - 騒音・振動の抑制対策
 - 周囲への景観対策
- ・ アスベストについて . . . p28～32
- ・ ネズミ対策 . . . p33

※参考資料はこれまでの説明会で既にご説明している内容です。

解体工事の手順

- ①敷地境界に仮囲い設置
- ②解体する建物ごとにパネルなど囲いを設置
- ③内外装材・設備機器等の撤去、アスベスト処理
- ④鉄骨・鉄筋コンクリートなど躯体の解体・除去

①仮囲い ②建物の囲い



④躯体の解体



※解体手順は一例です。各関係機関と協議しながら、建物や状況に応じて適切に解体作業を行います。

解体工事における各対策

粉じんの飛散抑制対策

- 散水（解体工事では最も効果のある粉じん飛散抑制対策）
- 解体建物の高さに応じたパネルなどで囲いを設置
- 仮囲いの設置（隣接地域への粉じん飛散抑制）
- 工事車両のタイヤを洗淨



解体工事における各対策

交通安全対策

- 解体工事で使用する正門・勝どき門には交通誘導員を配置（通学の時間帯や観光客で混雑する時間帯などは、誘導員の増員や車両ルートの配慮を検討）
- 工事車両には、どの工区に属する車両か運行責任を明示するため、色分けした「工事車両プレート」を工事車両に掲示

築地市場
1工区
工事関係車両

工事車両プレート
参考図



解体工事における各対策

騒音・振動の抑制対策

- 躯体解体は圧砕工法を採用（最も騒音・振動が小さい解体工法）
- 建物ごとの囲いには、防音パネルまたは防音シートを使用
- 作業機械は低騒音・低振動型を使用
（排出ガス対策型の認定を受けた工事車両で、排ガス削減にも寄与）
- 騒音・振動を常時測定し、仮囲いに掲示



解体工事における各対策

周囲への景観対策

- 仮囲いにはカッティングシート（絵柄付シール）を貼付
- 仮囲いには、一部現場の内部が見えるクリアパネルを使用

カッティングシート参考写真



アスベスト含有建材の種類と処理方法

レベル 1

発じん性 大

吹付け材
(例)梁・天井

青果部屋上駐車場
2階梁など

厳重な処理が必要

- ・撤去箇所を密閉
- ・室内の気圧を下げて、粉じんを外部に漏らさない
- ・飛散防止剤を塗布し、除去作業
- ・専用袋で2重梱包し、処分施設に直送

レベル 2

発じん性 中

貼付け材
(例)耐火ボード

水産物部第3卸売場
1階梁など

- ・撤去箇所を清掃 / 養生
- ・アスベストを使用していない部分で切断
- ・専用袋で2重梱包し、処分施設に直送

レベル 3

発じん性 小

その他石綿含有建材
(例)屋根

水産物部仲卸売場
屋根部分など

- ・撤去箇所を事前清掃
- ・散水等で湿潤
- ・手ばらしにより除去
- ・袋詰め

※発じん性→アスベスト粉じんの飛散しやすさ

※上記の処分方法は一例であり、法令等に則り適切に処理

アスベスト対策について

撤去方法

レベル1の撤去方法（例）

除去工具で石綿除去



↓ 専用袋にて二重梱包



↑ 粉塵計による
常時監視



レベル2の撤去方法（例）

アスベスト使用箇所の養生



アスベストを使用していない
部分で切断



アスベスト対策について

撤去方法



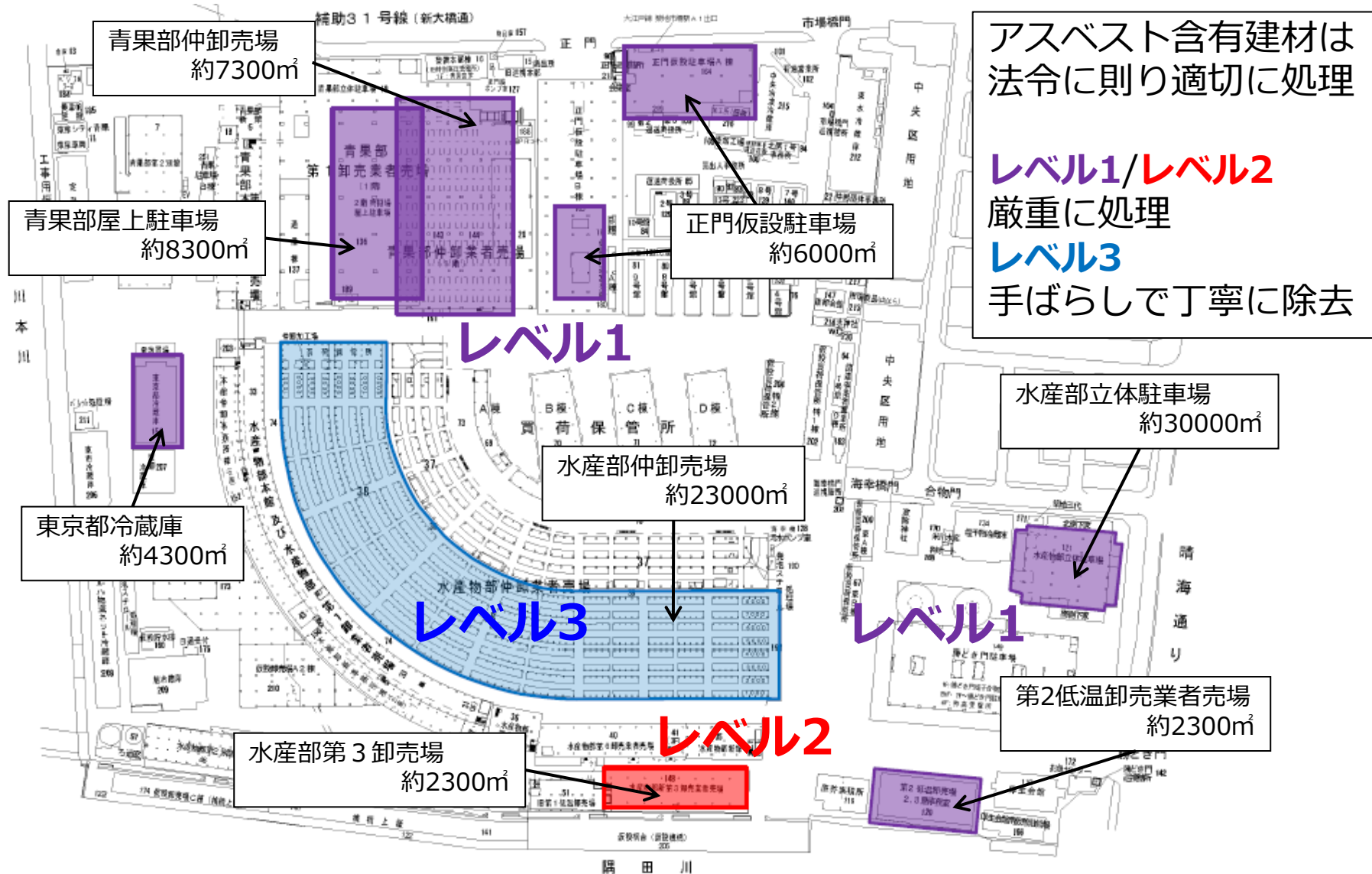
↑ 水産物部仲卸売場
アスベスト含有屋根

レベル3の撤去方法（例）



成型板の取り外し
(手ばらし)

アスベスト処理 築地市場内の主な状況



※アスベスト処理面積2000m²以上の建物を記載

アスベスト処理 築地市場内の対象建物数

- ・アスベストについては現在さらに調査を実施中
- ・天井裏などの建物内部は施工の段階に応じて調査・除去

工 区	解 体 棟 数	アスベスト処理棟数			
		合計(※)	レベル1	レベル2	レベル3
第1工区	13棟	6棟	1棟	0棟	6棟
第2工区	29棟	12棟	8棟	2棟	6棟
第3工区	25棟	10棟	8棟	1棟	7棟
第4工区	13棟	2棟	0棟	0棟	2棟
第5工区	58棟	18棟	6棟	0棟	15棟
第6工区	15棟	6棟	2棟	1棟	6棟
第7工区	2棟	1棟	0棟	0棟	1棟
合 計	<u>155棟</u>	<u>55棟</u>	25棟	4棟	43棟

※一つの棟に複数のレベルを有するものは1として計上

ネズミ対策

①地上部の対策

- ・場の外周部に波板、金網、防鼠ブラシ等を設置し流出経路を遮断
- ・外周部内側に400個の捕獲かごを設置

②地下部の対策

- ・場内の汚水等は二か所に集約され、ポンプで場外の下水道に放流される構造のため対策不要
- ・場外の雨水管と接続されている二か所について、流出防止ネットを設置（うち一か所設置済み、残る一か所は9月中に設置予定）

③クマネズミ対策

- ・ドブネズミに比べ、賢く素早いので罠にかかりにくいいため、無毒エサを一定期間置いて慣れさせてから殺鼠剤にすり替え
- ・クマネズミ生息エリア付近の架空配線を閉場後早急に撤去し、その他外部に繋がっている配線も順次撤去予定